

読谷村比謝。国道五八号線の通りに「ヘアプロジェクト・サヴァ」という理容室がある。スタイリッシュで明るい店内はバリアフリー設計で、車イスや介助が必要な方も安心してサービスが受けられる配慮がされている。

この店舗を経営しているのが、「NPO法人サヴァ・プロジェクト・ケア(Cava Purojektuo Care)」である。

代表の田原馨さんら理容師仲間数名が法人を立ち上げたのは昨年五月。店舗営業のほか、障害者・高齢者を対象に自宅や施設に訪問しての理容サービス、店舗まで送迎してのサービスを行っている。訪問理容サービスはこれまでもボランティアによって各地で行われてきた。しかしボランティアの休日を利用して行われるため「特定の曜日の施設利用者しか受けられない」「事故時の責任の所在が不明確」などの問題があった。

サヴァの場合、法人の事業として展開することによってこれらの問題をクリア。要望



があれば平日の営業時間はいつでも利用できる。理容業の保険も完備、メンバーはすべて理美容の有資格者でヘルパー資格をあわせもつ者も多く安心である。そしてなにより、ボランティア活動や福祉サービスとしてではなく、一般客として切ってもらうことで、サービス提供者が顧客のニーズにきめ細かく対応することが可能になった。

「リピーターの客も増えてきたが、まだまだ多くの方に知ってもらうことが必要。行政がサービス利用料の一部助成などを行えば利用者も増えるはず。」と田原さん。これからの展望については「理美容の免許取得者で結婚や出産により一時リタイアした方の仕事復帰の受け皿を提供できたら。活動を通じて地域住民とのふれあいを図っていきたい。」と語る。

髪を切ることで気分が明るくなり、心のケアにもつながる。整髪という誰が必要とするサービスをいつでも安心して受けられるメリットは大きい。活動をおしてサヴァは心のふれあいを提供している。

「NPO法人サヴァ・プロジェクトケア」
読谷村字比謝三七八〇
〇九八―九五七―五五七〇



平成15年度 沖縄県共同募金会事業実績

I 平成15年度（第52回）共同募金運動の実施
前年度目標額より 1,814,000円減の238,386,000円の目標額をかがけて展開された本年度の共同募金運動は、各支会・分会（市町村社協）の役職員始め、共同募金奉仕者の献身的なご協力と県民の深い理解に支えられて実施いたしました。全体では、一般募金が達成率にして 95.8%の成績となっております。

目標額未達成支会・分会が 14ヶ所（7市4町3村）となり運動の厳しかったことを窺わしている。

なお、募金実績と達成率は次のとおりである。

- 1.) 平成15年度（第52回）共同募金結果
目標額 238,386,000円
実績額 228,304,701円（達成率95.8%）
- 配分内訳（カッコ内は配分率）
市町村社協配分 138,194,389円（60.5%）
福祉施設団体配分 38,310,000円（16.8%）
災害支援等準備金 2,707,418円（1.2%）
支会・分会交付金 12,000,000円（5.3%）
次年度運動引当金 16,000,000円（7.0%）
一般会計繰出金 21,133,000円（9.2%）
- 2.) 市町村別実績額配分表（詳細略）
3.) 広域福祉施設団体配分（詳細略）

II 支会・分会強化のための基盤整備並びに研修会開催
1) 支会・分会事務局長並びに職員研修会の開催
2) 共同募金運動説明会等の開催(20回)

III 広報活動の実施
1) 共同募金運動（一般募金用）広報チラシの作成配布（40万枚）
2) 赤い羽根空の第一便伝達式の実施（10月1日、パレット久茂地前）
3) 先島への赤い羽根空の第一便伝達式の実施（10月1日、宮古空港ターミナル、石垣空港ターミナル）
4) バス車両内への共同募金広報チラシの掲示
5) テレビ・ラジオスポットによる広報活動
6) 街頭宣伝パレード並びに駅伝の実施
7) 福祉施設団体配分金内定通知書交付式の開催

IV 功労者の顕彰
1) 厚生労働大臣の感謝
2) 全国社会福祉大会における表彰
3) 中央共同募金会長の感謝

V 大口寄付者の取り扱い
1) 県共募扱いの大口募金（9件、10,906,192円）
2) 支会・分会取り扱いの個人大口募金（7件、1,900,000円）
3) 支会・分会取り扱いの法人大口募金（5件、5,015,000円）

VI 平成15年度（第48回）歳末たすけあい運動の実施
地域歳末目標額 74,704,000円、県共募目標額 9,000,000円＝計 83,862,000円
地域歳末実績額71,027,293円（達成率95.1%）
県共募取扱分額10,085,173円（達成率112.1%）※中央共募扱分を含む

- 1) 歳末たすけあい義援金総括表
義援金収入（541件、111,972,454円）
義援金配分先(323件、72,269,944円)
2) 義援金交付式の開催（85施設団体、6,717,000円）
3) 歳末たすけあい物品受付（3社、3品目、1,328,000円）
4) 歳末たすけあい物品配分（77施設）
5) 歳末たすけあい大口寄付（3個人、1,090,000円）
6) 歳末たすけあい大口寄付（4団体、3,598,500円）

VII 災害たすけあい運動の展開
1) 熊本県・福岡県集中豪雨及び宮城県地震災害義援金運動
義援金収入 3,219,421円
送付先 熊本県共同募金会 … 1,000,000円
福岡県共同募金会 … 1,000,000円
宮城県共同募金会 … 919,421円
北海道共同募金会 … 300,000円

- 2) 台風14号宮古島災害義援金運動
義援金収入 1,022,385円
送金先 宮古市町村会 … 1,022,385円

VIII 公益補助事業
1) 日自振、日動振補助事業
平成15年度分 1件 66,930千円（決定額）
平成16年度分 2件 70,000千円（内定額）
2) 中央競馬馬主社会福祉財団助成事業（3件、23,000千円）

IX 特定寄付金・特定指定寄付金（1件、8,533,293円）

X 各種委員会及び交付式の開催
1) 共同募金に係る委員会（共同募金配分委員会3回）
2) 日自振等の行う社会福祉事業に係る推薦委員会等（4回）
3) 補助金・助成金等の内定通知書交付式（2回）

XI 県外関係会議・研修会への出席
1) 共同募金関係（8件）、2) 公益資金関係（4件）

XII 会務の運営
1) 理事会の開催（3回）
2) 監事の監査（1回）
3) 評議員会の開催（2回）



■平成15年度 沖縄県共同募金会決算状況 (単位)

	貸 借 対 照 表				収 支 計 算 書				
	借 方		貸 方		借 方		貸 方		
一 般 会 計	流動資産	19,982	流動負債	660	運 営 費	49,970	財産収入	12	
	固定資産	23,107	引当金	33,592	中央分担金	1,983	運営寄付金 繰入金収入	0	
			基 金	6,279	公益資金	592	特別会計 繰入金収入	33,133	
			剰 余 金	2,558	調整業務費	0	退職共済 預け金収入	2,461	
					予 備 費	2,558	運動引当金 繰入金収入	16,000	
					当期剰余金		資産更新 引当金戻入	0	
							繰越金収入	1,405	
							公益資金 業務交付金	581	
							雑 収 入	1,511	
		計	43,089	計	43,089	計	55,103	計	55,103
寄 付 金 特 別 会 計	流動資産	273,720	流動負債	178,522	共同募金 配 分 金	248,774	共同募金 収 入	309,417	
			引当金	16,000	特殊寄付金 配 分 金	8,418	特殊寄付金 収 入	8,667	
			積立金	39,495	一般会計 繰入金支出	33,133	繰越金収入	30,860	
			剰 余 金	39,703	次年度運動 引当金支出	16,000	雑 収 入	190	
					災 害 等 準 備 金 繰入金支出	3,146	受配者指定 寄 付 金 返還金収入	0	
					受配者指定 寄付金返還金	0	受取利息	40	
					当期剰余金	39,703			
		計	273,720	計	273,720	計	349,174	計	349,174
	緊急配分金特別会計	流動資産	8,233	引当金	8,233	緊急配分金	1,000	緊急配分金 繰越金収入	7,669
			剰 余 金	0	災害ボランティア 支援資金配分金	0	災害ボランティア 支援資金配分金	1,563	
				繰 越 金	8,233	受取利息	1		
				当期剰余金	0				
	計	8,233	計	8,233	計	9,233	計	9,233	
災 害 等 準 備 金 特 別 会 計	流動資産	20,362	準備金	20,362	災害等準備 金配分金	0	災害等準備金 繰入金収入	3,146	
			剰 余 金	0	災害等準備 金繰越金	20,362	災害等準備金 繰越金収入	17,210	
					当期剰余金	0	区域外災害 等準備金 配分金収入	0	
							受取利息	6	
	計	20,362	計	20,362	計	20,362	計	20,362	
災 害 義 援 金 特 別 会 計					義 援 金 交 付 金	4,242	義援金収入	4,242	
							受取利息	0	
					計	4,242	計	4,242	

災害義援金特別会計

県社協では経営支援室を設置し、福祉施設の経営に関する相談を受け付けています。社会福祉法人の設立、施設経営、職員の処遇、会計・税務、法律問題など、様々な相談に対して、二名の経営支援員と三人の専門相談員弁護士、公認会計士、社会保険労務士が対応します。



沖縄県社会福祉協議会 経営者支援室
電話〇九八―八八七―一〇三七(直通)
FAX〇九八―八八七―二〇四三
〔会計・税務に関する相談は〕
倉持輝幸(公認会計士)
倉持公認会計事務所
那覇市古島一―五―一七
電話〇九八―八八六―四〇七七



Q1 当施設では、デイ・サービス経理区分については、通帳も別管理しています。しかし、今回、施設の通帳から支払いをしました。この場合、会計処理をどのようにしたらよいのでしょうか。原則として、各経理区分は事実のままを表示したいと思っています。



Q2 貸借対照表の減価償却費の注記は、累計額となっています。すなわち、今までに償却した金額の合計額を記載します。当期分の合計額ではありませんので注意してください。



Q&A 監修▼福祉施設経営支援事業専門相談員 公認会計士 倉持輝幸

貸借対照表の脚注に記載する減価償却費の金額は、当期分の償却費を書くのでしょうか。これまでずっと当期分の償却額の合計を書いていました。